



全国生活と健康を守る会連合会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-12-15 KATOビル 3階

TEL:03-3354-7431

FAX:03-3354-7435

「生活と健康を守る会」ってどんなことをしているの

子どもの健やかな成長を
・子育てや教育のこん談会
・キャンプや子ども会

生活を守る活動

・くらしに役立つ制度
の活用や改善と新設

健康を守る活動

・血圧測定や健康相談会
・健康診断や検診

喜びや悲しみ分かち合う
・誕生会やお見舞い、共同
墓地建設、墓参など

地域の環境をよくする

・道路の整備や信号機、
バス停屋根の設置
・公営住宅の修繕、エレベ
ーターや手すり設置

文化・レクリエーション

・新年会や旅行、お花見
・ハイキングや運動会
・カラオケや手づくり

くらしの助けあい

・産直活動やバザーなど



人間らしく生きる 権利と平和を守り

毎日の暮らしのなかで、「こんなことができれば、もっと人間らしい生活ができるのに」と思うことはありませんか。

一人ひとりの願いや要求をみんなの力を合わせて実現していくのが「生活と健康を守る会」です。

暮らしに必要な制度を活用し、みんなの声を聞いて改善した



り、新しい制度をつくる運動にとりくんでいます。家族ぐるみ班に集まり、楽しいことや助け合いのとりのくみもしています。

生活と健康を守る会は、政党や宗教、考え方のちがいにかかわりなく、一致する要求で手をつなぎます。生きる権利と平和を守り、誰もが人間らしく暮らすことのできる社会と政治にするために、あなたもぜひ入会して、一緒に運動していきましょう。

憲法をくらしに

全国生活と健康を守る会連合会(全生連)は「働かせろ！ 食べさせろ！ 病気をなおせ！」のスローガンをかかげて、創立以来 40 年間にわたって、人間らしく生きること(生存権保障)を求めて運動をひろげ、国や自治体に暮らしに役立つ、たくさんの制度を実施・改善させてきました。そして全生連・生活と健康を守る会は、今から 18 年前、人間が人間らしく生きていくための原則や権利要求を明らかにした『くらしと健康の権利宣言』(1976 年 7 月)を発表しました。

今年(1994 年)11 月 20 日、全生連創立 40 周年記念日を期して、長年にわたる生存権保障の運動の実績にもとづき、ここに『新・くらしと健康の権利宣言』を発表し、『わたしの権利手帳—憲法をくらしに』に収録することにしました。

歴代の自民党政治と、その政策を継承する新旧の連立内閣は、軍事費をふやしつづけ、自衛隊の海外派兵も強行しています。また、消費税の税率アップや社会保障の大改悪をねらっています。

みなさん！

戦争放棄をかかげ、人間らしく生きる権利の保障を定めている憲法や、その精神にのっとってつくられた諸法律が、今ほど大事で必要なときはありません。

この『わたしの権利手帳』は、全生連の「新・権利宣言」と、日本国憲法、それに世界憲法ともいべき「世界人権宣言」と「国際人権規約」を収録しました。

一人ひとりが、いつも座右において親しみ、カバンやハンドバッグに入れ、機会あるごとに読みかえし、学び、普及させましょう。

みなさんが、国や自治体に要求をだしていくときや、日頃の班会・小集会などの集まりのなかで、この『権利手帳』を活用して話しあい、行動をおこしましょう。

「主権者とは、権利・法律を行使できる人である」と言われます。「会員が主人公」である「生活と健康を守る会」に団結し、その力で、人間として生きる権利を行使しましょう。主権者・国民が、21 世紀にむけ、人間が人間らしく生きることのできる社会づくりめざし、ともに力をあわせて、草の根からの運動をひろげていきましょう。

1994 年 11 月 20 日 全国生活と健康を守る会連合会